

システム開発（変更）計画書

保育幼稚園学童課 保育業務支援システム

1 開発システム名（新規）	保育業務支援システム
2 目的	園児一人ひとりの情報（家族状況、発達情報、アレルギー情報など）を保育士全員が把握することで、目配り・気配りのできる保育環境を整え、安心・安全な保育サービスの提供を行う。また、指導計画や保育日誌の作成など、保育士の事務作業の効率化により、今まで以上に園児と向き合う時間を確保し、きめ細やかな質の高い保育サービスの提供を目指す。
3 開発システム概要	【名称】 保育業務支援システム 【内容】 保育園における情報の管理・共有、保育事務の効率化 【期間】 令和2年1月から3月までの、試用・検証により、他公立保育園での配備を目指す
4 現状・問題点及び開発の必要性	・保護者の安心・安全な保育環境へのニーズの高まり等に対応した情報共有手段整備の必要性 ・保育士の事務業務量の負担軽減により、園児等へのきめ細やかなサービス提供を可能とするシステム導入の必要性
5 記録項目	【園児情報管理】 1)園児名 2)園児ふりがな 3)性別 4)生年月日 5)郵便番号 6)住所 7)電話番号 8)保護者氏名 9)続柄 10)保護者連絡先 11)在園中の兄弟名 12)家族氏名 13)家族続柄 14)認定区分 15)保育必要量 16)家族連絡先 17)入園日 18)卒・退園日 19)アレルギー情報・特記 【健康管理、発達記録】 1)身体測定（身長・体重） 2)午睡記録 3)検温・排便記録 【登降園管理】 1)園児の登降園記録 2)出欠管理(病欠理由などの情報管理) 【指導計画、保育日誌】 1)行事計画 2)月間指導計画(クラス別) 3)保育日誌 【職員管理】 1)出退勤管理 2)職員出勤計画

6 出力帳票	出席簿 午睡チェック記録 健康記録・身体測定・発達記録の一覧表 保育要録（園児情報、出欠記録、発達記録） 行事計画 指導計画（年間、月間、週間） 保育日誌 職員の出退勤表
7 開発の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・検温情報や食物アレルギーなど、園児についての詳細な情報を保育士全員で把握することで、より一層の健康管理や安全対策（誤食防止等）が図れる ・指導計画や保育日誌、要録作成など、システム管理による事務業務の効率化により、これまで以上に園児・保護者と向き合う時間を確保し、きめ細やかな質の高い保育サービスの提供
8 外部への資料提供	保育要録（小学校）
9 非開示事項	
10 委託処理	
11 管理責任者	保育幼稚園学童課長 向上 正美
12 実務責任者	保育幼稚園学童課 保育係長 山田 将司